

# 主要農作物品種審査会

日 時：令和4年10月12日（水）  
午後3時から午後4時30分まで  
会 場：県行政庁舎4階 特別会議室

## 次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 報告事項  
令和3年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について
- 5 審議事項  
令和4年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について
- 6 その他
- 7 閉 会

## 出席者名簿

### 【委員】

役職	氏名	所属及び職名	出欠
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	出席
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系 准教授	出席
委員	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 准教授	出席
委員	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委員	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長	出席
委員	小粥 恵子	仙台市経済局農業振興課 課長	出席
委員	高澤 和寿	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

### 【幹事】

役職	氏名	所属及び職名
幹事	千葉 啓嗣	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹事	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹事	佐々木都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

### 【事務局等】

役職	氏名	所属及び職名
幹事代理	添田 哲男	農業振興課普及支援班 技術補佐（班長）
助言者	西條 和彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 主任研究員
事務局	島津 裕雄	宮城県古川農業試験場 作物育種部 品種評価チーム 主任研究員
事務局	佐藤 淳	みやぎ米推進課 技術副参事兼総括課長補佐
事務局	大村 雄一	みやぎ米推進課生産販売班 技術補佐（班長）
事務局	足立 陽子	みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（副班長）
事務局	石森 裕貴	みやぎ米推進課生産販売班 技術主査

令和4年度

主要農作物品種審査会資料

令和4年10月

宮 城 県



# 目 次

- ◎ 知事からの諮問 1
- ◎ 報告事項  
令和3年度優良品種決定調査に供した品種（麦類）について 3
- ◎ 審議事項  
令和4年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について 15

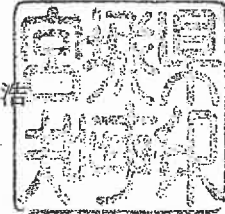




みや米第341号  
令和4年9月27日

主要農作物品種審査会  
会長 本間香貴 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



優良品種について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

令和4年度優良品種決定調査に供する品種（麦類）について。

担当 農政部みやぎ米推進課  
生産販売班 足立  
TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849  
e-mail：adachi-yo632@pref.miyagi.lg.jp





# 報告事項



## 令和3年度優良品種決定調査に供した品種(麦類)について

### 供試品種及び系統

#### ①大麦

種類	用途	基本調査		現地調査
		予備調査	本調査	
大麦	精麦	北陸皮72号	—	—
		(標)シュンライ (比)ミノリムギ		
	精麦 (糯)	東山皮糯120号	北陸皮糯73号(1)	—
		(標)ホワイトファイバー	(標)ホワイトファイバー	
計		2	1	0

#### ②小麦

種類	用途	基本調査		現地調査
		予備調査	本調査	
小麦	パン・ 中華 めん	東山62号	東北239号(1) 東山61号(1)	—
		(標)夏黄金	(標)夏黄金	—
	めん	—	東北238号(1) 東山60号(2) 東山58号(3)	東北238号(1)
		—	(標)シラネコムギ (比)あおばの恋	(標)シラネコムギ
計		1	5	1

注)品種及び系統名右側の( )内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。



# 令和3年度（令和4年産）麦類優良品種決定調査成績概要

宮城県古川農業試験場



イ 大表

○ 要望される品種  
ミニリムギ、シユンライと比較して収量、品質が同等以上であり、かつ、精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性が高く、実需からの要望を満たすもの。

表1 令和3年度(令和4年産)優良品種決定調査成績一覧(大表)

供試系統 (うるち)	供試年数		出穂期		成熟期		穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	病	赤かび 病	子実重 (kg/a)	シユンライ ファイバー	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	長所	概評	短所		
	予1	予2	(月・日)	(月・日)	(月・日)	(月・日)																		
北陸皮糯72号	予1	4.26	6.05	93.7	3.9	430	3.0	0.0	58.9	109	-	733	41.0	3.5	37.4	44.1	△							・収量が優る ・容積重・千粒重が大きい ・硝子率が低い 収量が優り、容積重・千粒重が大きく硝子率が低いので再検討。
(標)シユンライ		4.23	6.04	92.1	4.1	433	2.5	0.0	54.0	100	-	683	36.1	4.5	48.8	48.2								
(比)ミニリムギ		4.28	6.06	106.7	3.9	570	3.0	0.0	76.1	141	-	727	37.6	3.0	42.0	50.3								
東山皮糯120号	予1	4.25	6.06	96.5	4.3	424	2.2	0.0	57.3	-	92	726	37.8	3.5	24.5	51.4	△							・容積重・千粒重がやや大きい ・収量が劣る
北陸皮糯73号	本1 予1	4.28	6.06	92.9	4.0	389	2.2	0.0	51.4	-	83	711	39.3	4.0	21.5	53.8	※							→収量が劣るが容積重、千粒重がやや大きい ・千粒重が大きい →特性把握につき調査終了。
(標)ホワイトハイパー		4.26	6.06	96.5	4.2	463	2.2	0.0	62.3	-	100	711	37.2	3.5	29.3	51.4								

注1) 供試年数の本1は本調査、「予1」は予備調査を表わす。  
注2) 倒伏の多少 0: 無, 1: 少, 2: 中, 3: 多, 4: 甚  
注3) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0: 無, 1: 微, 2: 少, 3: 中, 4: 多, 5: 甚  
注4) 外観品質 1: 上の上, 2: 上の上, 3: 中の上, 4: 中の上, 5: 中の上, 6: 下  
注5) 有望度 ◎: ごく有望, ○: 有望, △: 再検討, ×: 打ち切り, ※: 中止(特性把握につき中止)  
耕種概要等(追肥以外は大麥・小麦共通)

播種日	令和3年10月15日
播種方法	ドリル播き(9-4-7-7)条間25cm 220粒/m <sup>2</sup> (株0.9kg/a)
基肥(aあたり)	尿素糞加安777 窒素: 0.8kg 燐酸: 0.8kg 加里: 0.8kg
追肥(aあたり)	硫酸 幼形期0.25kg, 減分期0.25kg(大麥) 硫酸 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.25kg(小麦めん用) 硫酸 幼形期0.25kg, 減分期0.5kg, 穂揃期0.5kg(小麦パン用)
実施場所及び圃場条件	古川農業試験場D18ほ場(田畑輪換ブロック)灰色低地土
試験面積	1区12m <sup>2</sup> (4m×3m) 2反復

表2 大表供試系統の歴年成績

供試系統	試験年数		出穂期		成熟期		穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	病	赤かび 病	子実重 (kg/a)	標準 対比(%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	外観 品質	硝子率 (%)	精麦 白度	有望 度	概評			
	R2	R3	(月・日)	(月・日)	(月・日)	(月・日)																	
北陸皮糯73号	R2	4.26	6.10	94.0	3.8	355	1.3	0.0	45.0	75	664	39.5	3.5	38.6	45.6	△							・「ホワイトファイバー」と比較して出穂期は2日、成熟期は1日遅い ・収量は劣る。容積重・千粒重は同程度
	R3	4.28	6.08	92.9	4.0	389	2.2	0.0	51.4	83	711	39.3	4.0	21.5	53.8	※							
平均		4.27	6.08	93.5	3.9	372	1.8	0.0	48.2	79	687	39.4	3.8	30.1	49.7								
(標)ホワイトハイパー	R2	4.23	6.07	94.1	4.0	427	2.0	0.0	59.7	100	684	38.9	4.0	27.3	47.2								
	R3	4.26	6.06	96.5	4.2	463	2.2	0.0	62.3	100	711	37.2	3.5	29.3	51.4								
平均		4.25	6.07	94.7	4.0	421	2.0	0.0	56.7	100	694	38.5	3.8	28.9	49.4								

注1) 倒伏の多少 0: 無, 1: 少, 2: 中, 3: 多, 4: 甚  
注2) 赤かび病および穂発芽の発生程度 0: 無, 1: 微, 2: 少, 3: 中, 4: 多, 5: 甚  
注3) 外観品質 1: 上の上, 2: 上の上, 3: 中の上, 4: 中の上, 5: 中の上, 6: 下  
注4) 有望度 ◎: ごく有望, ○: 有望, △: 再検討, ×: 打ち切り, ※: 中止(特性把握につき中止)

大表ランク区分

用途	評価項目	基準値	計容値
主食用等	容積重	690g/L以上	-
	穂麦率	2.2mm篩下に2.0%以下	-
	白度	43以上 選歩留: 55% 農産物検査時から1か月以上経過したサンプル	40以上
	硝子率	40%以下	50%以下

\* 経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。

口 小麦

○ 要望される品種  
シラネコムギと比較して収量、品質が同等以上であり、縮萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性が優れるもの。  
夏黄金と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として加工適性が優れるもの。

表3 令和3年度(令和4年度)優良品種決定調査成績一覧(小麦)

供試系統	供試年数	出穂期(月・日)	成穂期(月・日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重対照比(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質(%)	有望度	長所	短所
東北238号	予1 本1	5.05 6.20	6.19 83.8	8.8	398	0.0	0.0	0.0	68.0	120	-	853	43.4	3.0	11.1	△	・収量が優る
東山60号	本2 予1	5.02	6.19	84.0	7.5	568	0.3	0.0	66.9	118	-	839	42.9	2.0	12.4	※	・多収なので再検討とする。 ・収量が優る
東山58号	本3 予1	5.02	6.19	83.5	7.0	582	0.4	0.0	73.0	129	-	831	40.8	3.5	11.3	※	・収量が優る →特性把握に付き調査終了。 ・容積重・千粒重が小さい
(標)シラネコムギ		5.05	6.21	83.2	7.4	424	2.0	0.0	56.7	100	-	852	44.5	3.0	12.5		→特性把握に付き調査終了。
(比)あおほの恋 (パン・中華めん用)		5.02	6.17	73.3	7.5	433	2.6	0.0	46.8	83	-	834	43.7	3.0	12.8		
東山62号	予1	5.05	6.22	86.6	7.3	588	0.7	0.0	51.3	-	94	843	39.9	3.5	13.6	×	・収量が劣る ・容積重・千粒重が小さい
東北239号	本1 予1	5.09	6.24	80.2	9.1	397	0.0	0.0	69.0	-	126	850	46.0	3.0	12.0	△	→収量が劣り容積重・千粒重が小さいため打ち切り。 ・収量が優る ・千粒重が大きい
東山61号	本1 予1	5.04	6.17	83.2	8.8	439	0.0	0.0	56.6	-	103	849	44.7	3.0	14.7	△	→収量が優り、千粒重が大きいため再検討。 ・収量が優る ・千粒重が大きい
(標)夏黄金		5.07	6.23	82.4	8.1	458	0.5	0.0	54.8	-	100	856	43.4	2.0	13.4		→収量がやや優り、千粒重が大きいため再検討。

注1)供試年数の「本」は本調査、「予」は予備調査を表す。

注2)倒伏の多少 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚

注3)赤かび病および穂発芽の発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚

注4)外観品質 1:上の上、2:上の中、3:上の下、4:中の上、5:中の中、6:中の下、7:下の上、8:下の下、9:下の下

注5)有望度 ◎:ごく有望、○:有望、△:再検討、×:打ち切り、※:中止(特性把握につき中止)

品質評価基準(小麦)

用途	評価項目	基準値	許容値
日本めん用	たんばく	9.7%以上11.3%以下	8.5%以上12.5%以下
	水分	1.60%以下	1.65%以下
	容積重	840g/L以上	-
パン・中華めん用	たんばく	11.5%以上14.0%以下	10.0%以上15.5%以下
	水分	1.75%以下	1.80%以下
	容積重	833g/L以上	-
	フォールグナンパー	300以上	200以上
	フォールグナンパー	300以上	200以上

\*経営安定対策のうち、畑作物の直接支払交付金の交付単価は上記4項目の達成程度で決定される。



表4 小麦供試系統の歴年成績

①東北238号(シラネコムギ対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月日)	成熟期(月日)	穂長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質(%)	度	概評
東北238号	R2	5.03	6.19	80.8	9.6	346	0.6	0.0	59.3	121	831	40.1	3.0	11.8	○	・出穂期は1日,成熟期は2日早い
	R3	5.05	6.20	83.8	8.8	398	0.0	0.0	68.0	120	853	43.4	3.0	11.1	△	・収量は優る
	平均	5.04	6.20	82.3	9.2	372	0.3	0.0	63.7	121	842	41.8	3.0	11.5		・容積重は同程度
(標)シラネコムギ	R2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0		・千粒重がやや小さい
	R3	5.05	6.21	83.2	7.4	424	2.0	0.0	56.7	100	852	44.5	3.0	12.5		
	平均	5.05	6.22	82.9	7.5	415	1.8	0.0	53.0	100	838	42.9	3.5	12.8		

②東山60号(シラネコムギ対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月日)	成熟期(月日)	穂長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質(%)	度	概評
東山60号	R1	5.04	6.14	72.6	7.9	400	0.0	0.0	42.0	108	807	38.5	3.0	12.1	△	・出穂期は2日,成熟期は2日早い
	R2	5.02	6.18	77.7	7.5	461	1.5	0.0	53.0	108	818	38.6	3.0	12.5	△	・収量は優る
	R3	5.02	6.19	84.0	7.5	568	0.3	0.0	66.9	118	839	42.9	2.0	12.4	※	・容積重は同程度
平均	5.03	6.17	78.1	7.6	476	0.6	0.0	54.0	111	821	40.0	2.7	12.3		・千粒重が小さい	
(標)シラネコムギ	R1	5.07	6.14	70.1	8.0	322	0.0	0.0	39.0	100	810	37.9	3.0	12.2		
	R2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0		
	R3	5.05	6.21	83.2	7.4	424	2.0	0.0	56.7	100	852	44.5	3.0	12.5		
平均	5.05	6.19	78.6	7.6	384	1.2	0.0	48.3	100	828	41.2	3.3	12.6			

③東山58号(シラネコムギ対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月日)	成熟期(月日)	穂長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質(%)	度	概評
東山58号	H30	5.06	6.14	84.9	7.8	592	0.0	0.0	68.5	113	829	37.2	4.0	11.0	△	・出穂期は3日,成熟期は4日早い
	R1	5.04	6.15	73.5	7.6	411	0.0	0.0	44.7	115	806	36.0	4.0	11.0	△	・収量は優る
	R2	5.02	6.17	77.4	7.4	425	0.5	0.0	48.7	99	838	39.8	4.0	11.7	△	・容積重は同程度
平均	5.04	6.16	79.8	7.4	502	0.2	0.0	56.7	114	826	38.5	3.9	11.3	※	・千粒重が小さい	
(標)シラネコムギ	H30	5.10	6.21	87.0	7.4	546	1.0	0.0	60.8	100	835	42.2	3.5	11.3		
	R1	5.07	6.14	70.1	8.0	322	0.0	0.0	39.0	100	810	37.9	3.0	12.2		
	R2	5.04	6.22	82.6	7.5	405	1.6	0.0	49.2	100	823	41.3	4.0	13.0		
平均	5.05	6.21	83.2	7.4	424	2.0	0.0	56.7	100	852	44.5	3.0	12.5			
平均	5.07	6.20	80.7	7.6	424	1.2	0.0	51.4	100	830	41.5	3.4	12.6			

④東北239号(夏黄金対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月日)	成熟期(月日)	穂長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質(%)	度	概評
東北239号	R2	5.07	6.23	75.8	8.6	447	0.0	0.0	60.4	119	811	38.8	4.0	11.8	△	・出穂期は2日,成熟期は2日早い
	R3	5.09	6.24	80.2	9.1	397	0.0	0.0	69.0	126	850	46.0	3.0	12.0	△	・収量は優る
	平均	5.08	6.24	78.0	8.85	422	0.0	0.0	64.7	123	831	42.4	3.5	11.9		・容積重は同程度
(標)夏黄金	R2	5.05	6.20	76.8	8.0	448	0.6	0.0	50.6	100	829	37.8	4.0	14.3		・千粒重が大きい
	R3	5.07	6.23	82.4	8.1	458	0.5	0.0	54.8	100	856	43.4	2.0	13.4		
	平均	5.06	6.22	79.6	8.05	453	0.6	0.0	52.7	100	843	40.6	3.0	13.9		

⑤東山61号(夏黄金対照)

供試系統	供試年度	出穂期(月日)	成熟期(月日)	穂長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	倒伏程度	赤かび病	子実重(kg/a)	子実重(%)	容積重(g/L)	千粒重(g)	外観品質	蛋白質(%)	度	概評
東山61号	R2	5.05	6.21	84.8	7.4	527	1.1	0.0	48.0	95	839	38.2	3.0	15.1	△	・出穂期は1日,成熟期は3日早い
	R3	5.04	6.17	83.2	8.8	439	0.0	0.0	56.6	103	849	44.7	3.0	14.7	△	・収量は同程度
	平均	5.05	6.19	84.0	8.10	483	0.6	0.0	52.3	99	844	41.5	3.0	14.9		・容積重は同程度
(標)夏黄金	R2	5.05	6.20	76.8	8.0	448	0.6	0.0	50.6	100	829	37.8	4.0	14.3		・千粒重がやや大きい
	R3	5.07	6.23	82.4	8.1	458	0.5	0.0	54.8	100	856	43.4	2.0	13.4		
	平均	5.06	6.22	79.6	8.05	453	0.6	0.0	52.7	100	843	40.6	3.0	13.9		

注1) 倒伏の多少 0:無, 1:少, 2:中, 3:多, 4:甚  
 注2) 赤かび病の発生程度 0:無, 1:微, 2:少, 3:中, 4:多, 5:甚  
 注3) 外観品質 1:上の上, 2:上の中, 3:上の下, 4:中の中, 5:中の下, 6:下  
 注4) 有望度 ◎:ごく有望, ○:有望, △:再検討, x:打ち切り, ※:中止(特性把握につき中止)

# 表5 令和3年度麦類優良品種決定現地調査成績概要

## ①美里農業改良普及センター

### 1 気象経過

(1)越冬前 (10～12月)

- ・10月第1半旬からの降雨により、予定より遅く、悪条件での播種となった。
- ・出芽は比較的良好で、東北238号はシラネコムギよりやや出芽が早かった。降雨と降雪により、年内中の麦踏みは実施できなかった。

(2)冬期間 (1月)

低温と降雪により引き続き生育は停滞傾向。

(3)越冬後～成熟期 (2月～6月)

- ・2月第6半旬から高温多照傾向となり、麦の伸長が進み、3月末～4月初めに茎立ち期となった。
- ・4月第3半旬には約40mm、第6半旬には約50mmのまとまった降雨があり、4月は、ほぼは麗状態を経過した。その後は降雨は少なくなったが、5月第6半旬から6月第3半旬まではまた多雨となった。
- ・6月第1～第3半旬は低温にも見舞われ、6月第2半旬の平均気温は平年より約4℃低くなった。
- ・6月第4半旬以降は高温多照で経過した。

### 2 生育経過

- ・出芽揃いは比較的良好であったが、11月中旬からの低温と降雪により、冬期間の生育は停滞した。
- ・東北238号では4月5日頃、シラネコムギでは4月9日頃強効穂形成期に入ったと見られた。早くから高温で経過した令和3年種と比較すると成熟期は6日程度遅くなると見込まれた。

### 4 調査成績

品種名	出芽良否 (良・中・不)	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	倒伏程度 (0-4)	病害虫及び諸障害			穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	全重 (kg/a)	種子実重 (kg/a)	子実重 比率 %	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	外観品質	
					寒害	赤かび病	穂萎縮病									
東北238号	良	5/11	6/25	0	0	0	5	0	8.5	158	64	-	-	-	-	-
シラネコムギ	やや良	5/13	6/25	0.0	0	0	5	0	6.9	166	66	-	-	-	-	-

注1) 出芽の良否 良：80%以上、中、不良：60%以下

注2) 倒伏の多少 0：無、1：少、2：中、3：多、4：甚 3) 主要病害虫および諸障害 0：無、1：微、2：少、3：中、4：多、5：甚

注4) 品質概評 1：上の上、2：上の上、3：上の中、4：中の上、5：中の中、6：下

注5) 有望度判定

品種名	有望度	判定理由 (できるだけ詳しくお願いします。)
東北238号	△	出芽はシラネコムギより良好。出穂期頃までの生育も、シラネコムギより穂長も長く、有望と思われた。しかし、当該ほ場が無人への防除から漏れてしまったことにより赤かび病が発生、収穫が皆無となり収量・品質の比較ができなくなったことから、再検討と

注) 有望度 ◎：ごく有望、○：有望、△：再検討、×：調査打ち切り

### 3 耕種概要

- (1)播種期： 10月22日
- (2)播種様式： ドリル播き (シダーストップ)
- (3)条間： 25 cm
- (4)播種量： 0.9 kg/a
- (5)排水対策： 客土
- (6)表踏み： 1回目 4月7日
- (7)土作り： 2回目
- 3回目

資材名	施用量(kg/a)
タイニー	40

### (8)基肥・追肥

月日	肥料名	施肥量 (kg/a)	成分量(kg/a)	
			窒素	リン酸
3月29日	尿素	0.6	0.25	加里
4月22日	尿素	0.6	0.25	
5月11日	尿素	0.6	0.25	

### (9)除草剤

月日	除草剤名
3月1日	ハーモニー水和剤
1月0日	
1月0日	

月日	薬剤名
	なし
	※無人への防除から漏れてしまったと思われる

# 表5 令和3年度麦類優良品種決定現地調査成績概要

## ②登米農業改良普及センター

### 1 気象経過

- (1) 越冬前 (10～12月)
- ・11月の気象は、高温・少雨・多照の天候で推移。
  - ・12月は断続的な降雨、特に後半は低温で推移。
  - ・播種は10月25日、翌日降雨があり、出芽は概ね順調。ただし、シラネコムギはシーダレーブに種子ムラと思われる出芽ムラがあり、断続的な降雨等のため、越冬前の踏圧など管理作業ができず、越冬前は、低温と降雪により生育が停滞したが概ね順調な生育。
- (2) 冬期間 (1月)
- ・1月は低温、少雨だが、断続的な積雪があり、根雪となる積雪もあり、低温等により生育の回復は停滞。
- (3) 越冬後～成熟期 (2月～6月)
- ・2月は断続的に降雪があり、低温の日が続く。
  - ・3月以降は、高温・多照で推移。降水量は概ね平年並みだが30mmを超える日降水量が4月29日(32mm)、5月27日(82mm)、6月27日(82mm)で見られた。
  - ・3月は生育は根雪となる積雪もあり、低温等により生育の停滞。
  - ・3月後半以降は概ね順調に生育。出穂期は東北238号が5月8日、シラネコムギが5月10日。成熟期は東北238号がやや遅慢と見られ、向品種ともに6月29日。

### 2 生育経過

- ・播種は10月25日、出芽は概ね良好、シラネコムギが出芽ムラ。
- ・越冬前の生育は概ね良好。東北238号の生育が若干旺盛。
- ・越冬後、根雪があるため、生育は停滞気味。
- ・生育スレーブは、シラネコムギが5月10日、東北238号が2日早い5月8日。成熟期はシラネコムギが6月29日、登熟は東北238号がやや遅慢と見られ、同品種とも6月29日。

### 4 調査成績

品種名	出芽良否 (良・中・不)	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	倒伏程度 (0-4)	病害虫及び諸障害			得長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	全重 (kg/a)	種子実重 比率 (%)	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	外観品質
					寒害	雪害	赤かび病							
東北238号	良	5/8	6/29	0	0	0	0	77	300	83.0	40.9	41.5	836	4
シラネギ	中	5/10	6/29	0	0	0	0	87	450	59.0	26.1	41.904	829	4

注1) 出芽の良否 良：80%以上、中、不良：60%以下  
 2) 倒伏の多少 0：無、1：少、2：中、3：多、4：甚 3) 主要病害虫および諸障害 0：無、1：微、2：少、3：中、4：多、5：甚  
 4) 品質概評 1：上の上、2：上の中、3：中の上、4：中の中、5：中の下、6：下  
 5) 有望度判定

品種名	有望度	判定理由 (できるだけ詳しくお願いします。)
東北238号	○	・越冬前の生育が良好であり、年内の基数も確保でき、出穂期はシラネギより2日早い。千粒重及び外観品質はほぼ同程度であり、子実重比が高いことから収量が期待でき、試験初年目としては有望と判断。

注) 有望度 ◎：ごく有望、○：有望、△：再検討、×：調査打ち切り

### 3 耕種概要

- (1) 播種期： 10月25日  
 (2) 播種様式： ドリル播き (シダレーブ)  
 (3) 条間： 25 cm  
 (4) 播種量： 0.9 kg/a  
 (5) 排水対策： 特になし  
 (6) 麦踏み： 1回目 3月7日  
 2回目  
 3回目

資材名	施用量(kg/a)

### (8) 基肥・追肥

月日	肥料名	施肥量 (kg/a)	成分量(kg/a)	
			窒素	リン酸
10月28日	高度化成444	5.0	0.7	0.7
3月25日	シヤホ・硫安	1.0	0.2	0.2
4月25日	シヤホ・硫安	1.0	0.2	0.2

### (9) 除草剤

月日	除草剤名	月日	薬剤名
11月11日	ボクサー	11月2日	ベントト水和剤
4月1日	ハーモニー75DF	5月26日	トップジンM <sup>®</sup> β
1月0日		6月2日	フル乳剤25

(参考)製めん適性評価試験結果(令和2, 3年度)

東北地域麦類品質連絡試験 品質分析結果より抜粋(分析機関:A製粉株式会社)

○試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

○「さとのそら」は全国共通の標準品種

表6 作業性評価

①令和2年産

試料			評価項目(標準との比較)			
			水の入り	繋がり具合	べたつき	その他
めん①	標準品種	さとのそら	—	—	—	—
めん②	参考銘柄	A SW	同じくらい	少し良い	わずかにある	—
めん③	宮城県	東山58号	同じくらい	同じくらい	同じくらい	多少乾燥しているように感じるが、つながり具合に関しては同じようになる
めん④	宮城県	東山55号	同じくらい	少し良い	わずかにある	製麺性が良い
めん⑤	宮城県	シラネコムギ	わずかに多い	少し良い	わずかにある	製麺性が良く、しっとりとした生地になる
めん⑥	宮城県	あおばの恋	同じくらい	少し良い	わずかにある	繋がりやすく、製麺性が良い

※【水の入り】は、ミキシング時のそばろ、複合後の生地の状態から判断した。

②令和3年産

試料			評価項目(標準との比較)			
			水の入り	繋がり具合	べたつき	その他
めん①	標準品種	さとのそら	—	—	—	—
めん②	参考銘柄	A SW	同じくらい	少し良い	わずかに有り	・粘りがあり伸びのよりそばろとなり、製麺性が良い
めん③	宮城県	東山58号	同じくらい	少し良い	わずかに有り	・A SWより弱いが、しっかりした麺帯 ・そばろは硬めだが、つくりやすい ・麺帯生地は少しさげやすいがしっかりしている
めん④	宮城県	東山55号	同じくらい	少し良い	同じくらい	・東山58号より伸びの良いそばろ ・伸びが良くしっかりした麺帯でねばりもある ・しっかりした麺帯で、さげにくい
めん⑤	宮城県	シラネコムギ	同じくらい	少し良い	同じくらい	・とてもしっかりとした麺帯 ・伸びも良く、ねばりがあり作りやすい ・わかし後は、ねばりがあり、麺帯同士がくっつく

※【水の入り】は、ミキシング時のそばろ、複合後の生地の状態から判断した。

表7 試食官能評価

①令和2年産

試料			ゆで時間 (分)	色	外観 肌荒れ	食感			食味 香り・味	合計	総合評価
						かたさ	粘弾性	なめらかさ			
めん①	標準品種	さとのそら	15	14.00	10.50	7.00	17.50	10.50	10.50	70.00	70.00
めん②	参考銘柄	A SW	15	15.20	11.70	7.20	18.00	11.40	11.10	74.60	76.00
めん③	宮城県	東山58号	14	12.00	9.90	7.50	17.00	11.30	11.30	68.90	73.00
めん④	宮城県	東山55号	15	12.20	9.90	6.50	14.30	9.80	9.50	62.05	62.00
めん⑤	宮城県	シラネコムギ	15	12.40	11.10	6.30	15.30	9.80	9.30	64.10	62.00
めん⑥	宮城県	あおばの恋	15	14.20	12.20	7.40	19.00	11.40	10.80	74.95	74.00

②令和3年産

試料			ゆで時間 (分)	色	外観 肌荒れ	食感			食味 香り・味	合計	総合評価
						かたさ	粘弾性	なめらかさ			
めん①	標準品種	さとのそら	12	14.00	10.50	7.00	17.50	10.50	10.50	70.00	70.00
めん②	参考銘柄	A SW	12	14.00	11.60	7.30	19.30	11.70	11.40	75.20	75.00
めん③	宮城県	東山58号	11.5	9.20	10.20	7.10	17.30	11.10	9.00	63.85	67.00
めん④	宮城県	東山55号	11.5	12.00	9.90	6.40	13.30	9.20	8.70	59.40	56.00
めん⑤	宮城県	シラネコムギ	11.5	12.80	9.90	6.60	15.30	9.60	10.40	64.50	64.00

表8 コメント

①令和2年産

試料			コメント
めん①	標準品種	さとのそら	—
めん②	参考銘柄	A SW	—
めん③	宮城県	東山58号	多少柔らかめであるが、滑らかでよい食感である
めん④	宮城県	東山55号	多少かためである コシもあり、食感が強め
めん⑤	宮城県	シラネコムギ	少しかための食感
めん⑥	宮城県	あおばの恋	モチ感があり良い食感である

②令和3年産

試料			コメント
めん①	標準品種	さとのそら	—
めん②	参考銘柄	A SW	—
めん③	宮城県	東山58号	製麺性が良く、しっとりとした生地である。色の評価が低い、他の評価はさとのそらと同等である
めん④	宮城県	東山55号	製麺性が良く、しっとりとした生地である。試食において、もちり感が持続する。強い食感が求められる麺食品への利用適性が高いと推測する
めん⑤	宮城県	シラネコムギ	ねばりがあり繋がりが良いため、製麺性が高い。ねばりが強いがコシがあるため、食感の評価も良い

# 審議事項



## 令和4年度麦類優良品種決定調査に供する品種について

### 供試品種及び系統

#### ① 大麦

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
大麦	精麦	北陸皮76号 北陸皮78号	北陸皮72号(1)	北陸皮72号(1)
		(標) シュンライ (比) ミノリムギ	(標) シュンライ (比) ミノリムギ	(標) シュンライ
	精麦(糯)	東山皮糯121号	東山皮糯120号(1)	
		(標) ホワイトファイバー	(標) ホワイトファイバー	
計		3	2	1

#### ② 小麦

種類	用途	予備調査	本調査	現地調査
小麦	パン・ 中華めん		東北239号(2)	
			(標) 夏黄金	
	めん	東北240号 東山63号	東北238号(2)	東北238号(2)
		(標) シラネコムギ (比) あおばの恋	(標) シラネコムギ (比) あおばの恋	(標) シラネコムギ
計		2	2	1

注) 品種及び系統名右側の( )内数字は本調査及び現地調査供試年数を表す。

# 令和4年度 麦類優良品種決定調査に供する品種(系統)特性概要

特性の概要について

◆: 育成地における成績: 配布時の概要。内容・表現は原文の表記に従う。

◇: 本県における優良品種決定調査成績: 令和3年度の成績。

## ①大麦

### 1) 本調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
北陸皮72号	東山皮110号 ／北陸皮48号	F13	精麦	<p>【シュンライ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並性で播性IVの秋播き型。</li> <li>・出穂期は3日, 成熟期は1日程度早い。</li> <li>・穂長はやや長く, 稈長は同程度かやや長く, 穂数は同程度である。</li> <li>・収量は多く, 整粒歩合はやや大きい。容積重はやや小さく, 千粒重は同程度かやや大きい。</li> <li>・雲形病に罹病し, うどんこ病に弱い。穂発芽性, 耐雪性は中程度である。</li> <li>・搗精時間が短く, 精麦白度は同程度で, 破粒率が高い。硝子率は低く, 空洞麦率は高い。原麦粗タンパク含量はやや低く, 原麦β-グルカン含量は同程度である。</li> </ul> <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂期は3日遅く, 成熟期は1日遅い。</li> <li>・収量が優る。</li> <li>・容積重・千粒重が大きい。</li> <li>・硝子率が低い。</li> </ul> <p>令和4年度は場内試験を継続し, 栽培特性, 加工適性のデータを得るとともに, 現地試験に供試して地域適応性を検討する。</p>
東山皮糯120号	東山皮糯109号 ／ファイバースノウ	F12	精麦(糯)	<p>【ホワイトファイバー対照】(ホワイトファイバーの改良型もち種)</p> <p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播性程度はI~II。出穂期は同程度。</li> <li>・稈長はやや長く, 穂長は同程度。穂数はやや少ない。</li> <li>・収量は多い。</li> <li>・容積重はやや大きく, 千粒重は同等。</li> <li>・耐雪性・耐寒性は同等。</li> <li>・硝子率はやや低く, 精麦時間は短い。白度は高い。</li> <li>・アミロース含量は同等。</li> <li>・β-グルカン量はやや少ないが, 実需者が求める基準を満たしている。</li> </ul> <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂期は1日早い。成熟期は同程度。</li> <li>・収量は劣る。</li> </ul> <p>令和4年度は場内試験を継続し, 栽培特性, 加工適性のデータを得る。</p>

### 2) 予備調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
北陸皮76号	東北皮42号 ／シンジュボシ	F12	精麦	<p>【シュンライ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並性で播性IVの秋播型。</li> <li>・出穂期は2-12日早く, 成熟期は同程度である。稈長は短く, 穂長は長く, 穂数は同程度である。</li> <li>・収量が多く, 整粒歩合は大きい。容積重は同程度かやや小さく, 千粒重は同程度かやや大きい。</li> <li>・うどんこ病の発生程度はわずかに少なく, 耐雪性はやや弱い。穂発芽性は同程度である。</li> <li>・搗精時間は長く, 精麦白度は同程度で, 破粒率が大きい。硝子率, 空洞麦率は同程度である。原麦粗タンパク含量, 原麦β-グルカン含量は同程度で, SKCS硬度がやや小さい。</li> </ul>



## (大麦予備調査続き)

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
北陸皮78号	(東北皮43号 ／東山皮糯 109号)F1/ 関東皮96号	F11	精麦	<p>【シュンライ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ファイバースノウ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並性で播性Ⅲの秋播型。</li> <li>・破碎でんぶん粒遺伝子fraをもち、硝子率がかなり低い。</li> <li>・出穂期は1日早く、成熟期は2日遅い。稈長は短く、穂長は同程度、穂数は少ない。</li> <li>・収量はやや少なく、整粒歩合は大きい。容積重はやや小さく、千粒重は大きい。</li> <li>・うどんこ病の発病程度はわずかに少なく、耐雪性やや弱い。穂発芽性は同程度である。</li> <li>・搗精時間が長く、精麦白度はやや低い。空洞麦率は高めである。原麦粗タンパク含量、原麦β-グルカン含量は同程度である。</li> </ul>
東山皮糯121号	東山皮糯109号/ ファイバースノウ	F11	精麦(糯)	<p>【ホワイトファイバー対照】(ホワイトファイバーの改良型もち種)</p> <p>◆育成地における成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並性、皮性のもち種で、播性程度はVである。</li> <li>・出穂期は2日遅く、成熟期は同等である。</li> <li>・稈長はやや長く、穂長は同等で、穂数はやや少ない。</li> <li>・収量は同等である。</li> <li>・容積重及び千粒重はやや大きい。外観品質は同等である。</li> <li>・耐寒性は「やや強」でやや優れ、耐雪性は「中」で同等である。</li> <li>・オオムギ縮萎病抵抗性はI+Ⅲ型、Ⅱ型共に「極強」、オオムギ萎縮病抵抗性は「やや強」であり、いずれも優れる。</li> <li>・硝子率はやや低く、白度は高い。SKCS硬度は小さく、精麦時間は短い。</li> <li>・アミロース含量は同等で在来型もち種である。</li> <li>・β-グルカン含有率はやや低い。</li> </ul>

②小麦

1)本調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
東北239号	盛系D- B019/盛系 D-B031	F13	パン・ 中華 めん	<p>【夏黄金対照】</p> <p>◆育成地における成績(ゆきちから比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播性V。出穂期は2日程度遅く、成熟期は1日程度遅いやや早生種。</li> <li>・白ふ、有芒で、稈長が短く穂長はやや長い。</li> <li>・耐雪性は"やや弱"で、穂発芽性は1ランク優る"やや難"である。</li> <li>・縞萎縮病抵抗性は"やや強"で、うどんこ病抵抗性は"中"で、赤さび病抵抗性は"やや強"である。</li> <li>・収量が多く、千粒重と容積重が大きく、外観品質が優れる。</li> </ul> <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂期は2日遅い。成熟期は1日遅い。</li> <li>・収量が優る。</li> <li>・千粒重が大きい。</li> </ul> <p>令和4年度は場内試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>
東北238号	盛系D- B030//関東 135号/きたほ なみ	F13	めん	<p>【シラネコムギ対照】</p> <p>◆育成地における成績(ネバリゴシ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播性IV。出穂期は3日程度早く、成熟期は同程度の早生種。</li> <li>・白ふ、有芒で、稈長がやや長く穂長が長い。</li> <li>・耐雪性は"やや弱"で、穂発芽性は"やや難"である。</li> <li>・縞萎縮病抵抗性は"やや強"で、うどんこ病抵抗性は"やや強"で、赤さび病抵抗性は"強"である。</li> <li>・収量が多く、容積重が大きく、外観品質は同程度。</li> </ul> <p>◇本県における優良品種決定調査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂期は同程度。成熟期は1日早い。</li> <li>・収量は優る。</li> </ul> <p>令和4年度は場内試験及び現地試験を継続し、栽培特性、加工適性のデータを得る。</p>

2)予備調査

系統名	組み合わせ	世代	用途	特性の概要
東北240号	厨系E-D663 /東北230号	F11	めん	<p>【シラネコムギ対照】(Wx-B1欠のやや低アミロース、軟質系統で、製粉性に優れる多収系統)</p> <p>◆育成地における成績(ネバリゴシ比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播性はIV~V。出穂期は1日程度早く、成熟期が3日程度早い中生系統。</li> <li>・白ふ、有芒で、稈長は同程度、穂長は長く、穂数は多い。</li> <li>・耐雪性は"中"、穂発芽性は"難"である。</li> <li>・縞萎縮病抵抗性は"中~強"、赤さび病抵抗性は"中"である。</li> <li>・収量が多く、千粒重が大きく、外観品質がやや劣る。</li> <li>・軟質小麦で比表面積は同程度である。製粉歩留、ミリングスコアは優れる。</li> <li>・原粒の灰分含量、60%粉の灰分含量ともに同程度である。</li> <li>・粉の色は赤みが低く、明度、白度が高い。</li> <li>・アミログラムのブレークダウンは「ネバリゴシ」と同様に大きい。</li> <li>・製めん適性試験では、「ネバリゴシ」と比較して色と外観の評価が高く、合計点も高い。</li> </ul>
東山63号	東海105号/ しゅんよう	F12	めん	<p>【シラネコムギ対照】(軟質小麦で、グルテンが弱め)</p> <p>◆育成地における成績(しゅんよう比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播性程度IV。紡錘状穂の有芒種、ふ色は淡黄(白ふ)である。</li> <li>・出穂期は3日早く、成熟期は2日早く、「シラネコムギ」と同等である。</li> <li>・稈長・穂長はやや短く、穂数はやや少ない。倒伏は同等である。</li> <li>・収量はやや多収である。容積重は同等である。千粒重は明らかに大きい。外観品質は優れる。</li> <li>・耐寒性「やや強」、耐雪性は「やや強」であり、ほぼ同等である。穂発芽性は「難」であり、同等である。</li> <li>・育成地におけるコムギ縞萎縮病抵抗性は「強」で同等である。</li> <li>・製粉歩留は同等で、ミリングスコアはやや高い。</li> <li>・60%粉の蛋白質含量はやや低い。</li> <li>・粉の色の明度(L*), 赤み(a*), 黄色み(b*)は加熱前及び加熱後ともにほぼ同等である。</li> <li>・アミロース含量は低い"やや低アミロース"タイプ(Wax-B1b)である。</li> <li>・ファリノグラムの吸水率はやや低い。パロリメータバリュウ(V.V.)は大きい。</li> </ul>

## 参 考 资 料

# 目 次

I	要望される品種（麦類）	1
II	宮城県優良品種決定基準	2
III	宮城県主要農作物優良品種区分基準	3
IV	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	4
V	宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分	5
VI	優良品種決定調査の方法	6
VII	宮城県優良品種決定調査方法	7
VIII	主要農作物種子条例	9
IX	主要農作物品種審査会構成員名簿	11
X	優良品種特性表（水稻）	12
X I	優良品種特性表（大豆）	13
X II	優良品種特性表（麦類）	14
X III	水稻優良品種の年次別作付面積	15
X IV	大豆優良品種の年次別作付面積	16
X V	麦類優良品種の年次別作付面積	17

## I 要望される品種（麦類）

①大麦：「ミノリムギ」、「シュンライ」と比較して収量、品質が同等以上であり、かつ精麦白度が高く、加工時の砕粒が少ないもの。また、機能性が高く、実需からの要望を満たすもの。

②小麦：「夏黄金」と比較して赤かび病に強く、収量、品質が同等以上であり、穂発芽性が難である熟期の早い品種。かつ、パン用として、加工適性が優れるもの。

「シラネコムギ」と比較して収量、品質が同等以上であり、縞萎縮病に強い熟期の早い品種。かつ、めん用として加工適性および製粉性が優れるもの。

## II 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

### 1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

### 2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要される特性に関し，重大な欠点明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しが  
ない場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

### Ⅲ 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和2年9月18日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稻・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の2区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和2年9月18日決定)

「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種

イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種

ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種

エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種

オ 暫定的に普及が望まれる品種

#### IV 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稲・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

##### 1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稲	麦 類	大 豆
200ha	100ha	100ha

##### 2 基幹・特定品種の移行について

###### (1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

###### (2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面積	備 考
水 稲	200ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	200ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	300ha	1銘柄販売ロット500t以上

##### 3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稲	麦 類	大 豆
100ha	50ha	50ha

##### 4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。



## V 宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分

### 1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ，ササニシキ， まなむすめ，だて正夢	トヨニシキ，げんきまる， 東北194号，金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ，つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ，こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華（酒造好適米）	たきたて(低アミロース米)

### 2 麦類

#### (1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ，夏黄金	あおばの恋

#### (2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ	ホワイトファイバー
中 生	ミノリムギ	—

### 3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ，あやこがね	すずほのか，タチナガハ， きぬさやか
晩 生	ミヤギシロメ	—

## VI 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

### 1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆 12月末日

麦類 7月末日

### 2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

### 3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

#### (1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

#### (2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

## VII 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟耐性, 耐倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性(耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

- 2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類	農作物 の種類	区制		耕種法の種類
		1区面積	区数	
基 予 備 本 調 査	稲	6 m <sup>2</sup> 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本県に最も普及している耕種様式により調査を行う。
	麦類	10m <sup>2</sup> 以上		
大豆	12m <sup>2</sup> 以上			
調 本 調 査	稲	6 m <sup>2</sup> 以上	3区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本県に最も普及している耕種様式を原則として複数用いて調査を行う。
	麦類	10m <sup>2</sup> 以上		
	大豆	12m <sup>2</sup> 以上		
現 地 調 査	稲 麦類 大豆	20m <sup>2</sup> 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 優良品種適応地域ごとに最も普及している耕種様式により調査を行う。

### 3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備	<p>1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p>
	本調査	<p>1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味</p> <p>2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質</p> <p>3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質</p>
現地調査		<p>1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。</p>

## Ⅷ 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第59号]

### 第三章 主要農作物品種審査会

#### (設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

#### (所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

#### (組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会

長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二條 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三條 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四條 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

## Ⅸ 主要農作物品種審査会構成員名簿

(令和4年9月)

役職名	氏名	所属及び職名
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系理工・自然部門 准教授
〃	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 准教授
〃	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長
〃	小粥 恵子	仙台市経済局農業振興課 課長
〃	高澤 和寿	宮城県農政部 副部長(技術担当)
幹事	千葉 啓嗣	宮城県農政部みやぎ米推進課 課長
〃	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	長谷部 幹	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	佐々木 都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長









### ⅩⅢ 水稻優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品種	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
	作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合							
		A	B		A	B		A	B		A	B						
うるち	やまのしずく	45	0.1%	0.1%	34	0.1%	0.1%	36	0.1%	8	0.01%	0.014%	32	0.1%	0.1%			
	ササニシキ	3,751	6.6%	6.4%	3,447	6.1%	5.9%	3,479	6.0%	3,933	6.8%	6.7%	3,872	7.0%	6.8%			
	ひとめぼれ	44,285	78.1%	75.5%	42,218	76.2%	73.7%	43,988	75.8%	42,509	73.7%	71.9%	40,189	72.8%	71.0%			
	まなむすめ	2,784	4.9%	4.7%	2,831	5.1%	4.9%	2,532	4.4%	2,941	5.1%	4.9%	3,247	5.9%	5.7%			
	だて正夢	—	—	—	287	0.5%	0.5%	608	1.1%	841	1.4%	1.4%	663	1.2%	1.2%			
	げんきまる	823	1.5%	1.4%	1,050	1.9%	1.8%	983	1.7%	1,046	1.8%	1.8%	1,033	1.9%	1.8%			
	トヨニシキ	131	0.2%	0.2%	123	0.2%	0.2%	114	0.2%	102	0.2%	0.2%	42	0.1%	0.1%			
	コシヒカリ	517	0.9%	0.9%	615	1.1%	1.1%	573	1.0%	580	1.0%	1.0%	464	0.8%	0.8%			
	つや姫	3,772	6.7%	6.4%	3,986	7.2%	7.0%	4,085	7.2%	4,378	7.5%	7.4%	4,966	9.0%	8.8%			
	東北194号	296	0.5%	0.5%	278	0.5%	0.5%	232	0.4%	220	0.4%	0.4%	179	0.3%	0.3%			
	蔵の華	154	0.3%	0.3%	148	0.3%	0.3%	153	0.3%	172	0.3%	0.3%	103	0.2%	0.2%			
	ゆきむすび	67	0.1%	0.1%	58	0.1%	0.1%	61	0.1%	63	0.1%	0.1%	72	0.1%	0.1%			
	たきたて	56	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	37	0.1%	35	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%			
	金のいぶき	—	—	—	235	0.4%	0.4%	156	0.3%	117	0.2%	0.2%	349	0.6%	0.6%			
その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%				
計	56,681	100%	96.6%	55,390	100%	96.7%	56,902	100%	57,994	100%	97.2%	57,701	100%	97.6%	55,207	100%	97.6%	
もち	ヒメノモチ	65	3.3%	0.1%	49	2.6%	0.1%	53	3.2%	22	1.5%	0.0%	30	2.1%	0.0%	18	1.3%	0.0%
	みやがねもち	1,887	95.5%	3.2%	1,832	96.4%	3.2%	1,577	95.8%	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%	1,330	97.9%	2.4%
	こちもち	23	1.2%	0.0%	20	1.0%	0.0%	16	1.0%	15	1.0%	0.0%	16	1.2%	0.0%	11	0.8%	0.0%
計	1,975	100%	3.4%	1,900	100%	3.3%	1,645	100%	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%	1,359	100%	2.4%	
合計	58,656	—	100%	57,289	—	100%	58,547	—	59,442	—	100%	59,090	—	100%	56,566	—	100%	

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別内の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

#### XIV 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%) (面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成28年産		平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産		
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	
大豆	ミヤギシロメ	4,452	39.4%	4,726	42.2%	4,665	43.6%	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,557	50.5%
	タンレイ	2,723	24.1%	2,613	23.3%	2,622	24.5%	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%
	タチナガハ	3,243	28.7%	3,293	29.4%	2,825	26.4%	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%
	あやこがね	316	2.8%	258	2.3%	235	2.2%	198	1.8%	199	1.8%	154	1.4%
	きぬさやか	102	0.9%	101	0.9%	96	0.9%	77	0.7%	113	1.0%	103	0.9%
	すずほのか	136	1.2%	127	1.1%	139	1.3%	110	1.0%	110	1.0%	100	0.9%
その他	294	2.6%	78	0.7%	118	1.1%	143	1.3%	140	1.3%	191	1.7%	
合 計	11,300	100%	11,200	100%	10,700	100%	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%	

注1) 作付面積は東北農政局統計情報部資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

注2) 令和3年産の作付面積は、令和3年10月26日公表の速報値に基づく。

## X V 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次 品 種	平成28年産			平成29年産			平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産		
	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合	
		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B			
ミノリムギ	300	28.6%	13.5%	318	30.0%	14.1%	336	28.7%	14.8%	292	25.2%	12.8%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%
シュンライ	735	70.0%	33.0%	723	68.2%	32.0%	814	69.6%	35.9%	667	57.5%	29.1%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%
大麦 ホワイトファイバー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	181	15.6%	7.9%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%
その他	15	1.4%	0.7%	19	1.8%	0.8%	20	1.7%	0.9%	20	1.7%	0.9%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%
計	1,050	100.0%	47.1%	1,060	100.0%	46.9%	1,170	100.0%	51.5%	1,160	100.0%	50.7%	1,160	100.0%	51.3%	1,280	100.0%	53.6%
シラネコムギ	683	57.9%	30.6%	700	58.3%	31.0%	613	55.7%	27.0%	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%
夏黄金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%
小麦 あおばの恋	110	9.3%	4.9%	119	9.9%	5.3%	132	12.0%	5.8%	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%
その他	22	1.9%	1.0%	31	2.6%	1.4%	33	3.0%	1.5%	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%
計	1,180	100.0%	52.9%	1,200	100.0%	53.1%	1,100	100.0%	48.5%	1,130	100.0%	49.3%	1,100	100.0%	48.7%	1,110	100.0%	46.4%
合 計	2,230	100%	100%	2,260	100%	100%	2,270	100%	100%	2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

2) 平成18年以降の作付面積は、統計上の作付面積から麦類の播種状況調査結果より換算。

3) 令和3年産の面積は令和3年11月30日公表の速報値。

